

公立大学法人名古屋市立大学第三期中期目標（案） に対する市民意見の内容及び市の考え方

「公立大学法人名古屋市立大学第三期中期目標（案）」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

皆様からお寄せいただいたご意見と、それに対する市の考え方を公表いたします。

なお、ご意見のうち、原文を一部要約、または分割等して掲載しておりますので、ご了承ください。

平成 29 年 9 月 名古屋市

実施結果

1 実施期間

平成 29 年 7 月 10 日（月）から平成 29 年 8 月 8 日（火）まで

2 提出状況

意見提出者 10 人

意見数 22 件

3 提出方法

ファックス 3 人

電子メール 5 人

郵送 2 人

4 意見の内訳

1 第三期中期目標（案）の前文に対するご意見 2 件

2 第三期中期目標（案）の各項目に対するご意見

(1) 教育に関する目標に対するご意見 3 件

(2) 研究に関する目標に対するご意見 1 件

(3) 社会貢献に関する目標に対するご意見 3 件

(4) 附属病院に関する目標に対するご意見 5 件

(5) 財務内容の改善に関する目標に対するご意見 1 件

(6) その他の業務運営に関する重要目標に対するご意見 4 件

3 その他のご意見 3 件

1 第三期中期目標（案）の前文に対するご意見（2件）

市民意見	市の考え方
・自動運転、AI、航空宇宙産業、再生医療などの次世代産業の発展のため、そういった分野に貢献できるような人材育成を行う役割があり、そのために産学連携を目指し、文系理系横断的な専攻と研究が必要である。	第三期中期目標（案）（以下「中期目標」という。）の前文では、ご指摘の趣旨を踏まえて「全学が一体となって教育・研究・社会貢献に取り組み、国内外に広く大学の魅力を発信することにより、多くの若者や研究者に選ばれ、産業界や行政などとの連携を深め、世界をリードする大学への発展をめざす」ことや「地域社会と国際社会に貢献し、次世代をリードできる優れた人材を輩出する」ことを掲げております。 中期目標に掲げたこれらの取り組みを着実に実施するよう努めてまいります。
・地元だけでなく日本全国、世界各国から優秀な学生を集め、地元の産業発展のための人材教育と先進的な取り組みを続け、最終的には名古屋市の永続的な発展に貢献する大学としての役割が求められる。	

2 第三期中期目標（案）の各項目に対するご意見

（1）教育に関する目標に対するご意見（3件）

市民意見	市の考え方
・名古屋で積極的に学ぶ人材を育てる提案（例えば名古屋市民の入学金無料化や奨学金制度など）も含められてよいのではないかと。	市が大学を設立する意義のひとつに、高等教育の機会均等を保障することがあると考えております。中期目標には、経済的支援の充実を掲げており、ご指摘の趣旨も踏まえて今後の取り組みの参考とさせていただきます。
・名古屋市立大学で博士号を取得した学生（特に社会人ドクター）を教員採用し、名古屋市を盛り上げる研究を行いながら学生を育成して欲しい。	中期目標では、名古屋市を取り巻く諸問題の分析・解決に寄与し、また、社会ニーズの高い研究課題に重点的かつ分野横断的に取り組み、連携を強化することで、研究成果を行政課題の解決につなげることとしており、社会的な要請や時代の変化などに対応した人材育成を実現するための教育実施体制を常に検証・検討することとしております。 今後、ご指摘の趣旨も参考にしながら中期目標の着実な実現に向けて努めてまいります。

・奨学金制度を厚くし、名古屋市内で医業に従事する卒業生を減免するなどの策を講じ、地域への定着率を向上させることはできないか。	近年、医学部の卒業生の進路は、3割以上が名古屋市内、7割以上が名古屋市も含めた愛知県内の医療機関になっております。ご指摘の意見も参考にしながら、地元定着を促すための対策を講ずるよう努めてまいります。
--	--

(2) 研究に関する目標に対するご意見 (1件)

市民意見	市の考え方
・社会ニーズがどこにあるかについて、研究者の一人よがりにならないよう、公立大学としての使命を自覚して、名古屋市と十分に連携して公立大学ならではの研究成果を出していただきたい。	中期目標では、社会ニーズの高い研究課題に取り組み、その成果を行政課題の解決につなげることを掲げております。 今後市立大学が作成する中期計画にご指摘の趣旨を参考に具体的な内容を定め、中期目標の着実な実現に向けて努めてまいります。

(3) 社会貢献に関する目標に対するご意見 (3件)

市民意見	市の考え方
・様々な学部や専攻で、教員として、社会人で特徴ある人を採用し、産学官の交流を活性化して欲しい。	中期目標では「産学官との連携を強化することで、大学の教育・研究の促進を図るとともに、人類共通の課題や行政課題の解決へ寄与する」ことを掲げております。 今後とも、市民の方々からのご意見を参考にしながら、中期目標に掲げたこの取り組みを着実に実施するよう努めてまいります。
・大学発のベンチャー企業の推進に取り組んでいかなければならないと思う。	中期目標では「産学官との連携を強化することで、大学の教育・研究の促進を図るとともに、人類共通の課題や行政課題の解決へ寄与する」ことと、「知的財産の活用を活性化させるとともに、産学官の連携によりその利用を促進することで、研究成果を社会へ還元する」ことを掲げております。 具体的な取り組みについては、今後市立大

	学が作成する中期計画の中で定めることとしておりますので、ご意見については参考とさせていただきます。
・今後も、広く一般市民が聞けるレベルから、専門分野をもつ市民の更なる学びのレベルまで、大学が生涯学習に貢献していただくことを希望する。	中期目標では、地域と連携・協働し、大学の有する資源を還元することを通じて生涯にわたる学習の機会を提供することを掲げております。 これまでも参加者へのアンケートを踏まえ、時代や市民のニーズに適合するような多様な公開講座（市民公開講座・授業公開など）を開講しているところです。 今後とも、市民の方々からのご意見を参考にしながら、中期目標に掲げたこの取り組みを着実に実施するよう努めてまいります。

（４）附属病院に関する目標に対するご意見（５件）

市 民 意 見	市の考え方
・災害医療の拠点としての機能強化について、日本全国で災害が頻発し、多くの方の健康が損なわれ、また命が失われている現状を鑑みると、ぜひとも実効性のある具体的な内容に発展していくようお願いしたい。	将来、発生が予想される南海トラフ巨大地震では、市域南部が津波によって被害を受けることが懸念されており、市立大学病院は津波の影響を受けない最前線の災害拠点病院として被災した患者さんが集中することが想定されます。
・南海トラフ地震などが発生した際に、前線に立って名古屋市民を守る災害拠点病院として機能できるような具体的な整備を強く希望する。	こうした状況がある中、中期目標では「救急医療及び災害医療の拠点として、市民の命を守るための機能を強化する」ことを掲げております。
・市立大学病院には、市内・県内の大学病院や市立病院等とも連携を取りながら、災害拠点病院としての役割を果たしていただきたい。	今後市立大学が作成する中期計画に具体的な内容を定め、中期目標の着実な実現に向けて努めてまいります。

・名古屋には名古屋大学病院もあるので、公立の大学病院として競争せず、お互いの特徴を生かした連携体制を築くべき。	中期目標では、地域の医療機関等と相互協力関係の強化を掲げており、名古屋市全体の病院との役割分担と連携を図るよう努めてまいります。
・市立大学病院は名古屋市としてどのように地域医療・福祉政策に位置づけるかが出てきていない。市立病院の総元締めとして地域医療の要とする位置づけが必要ではないか。	市立大学病院の地域医療・福祉における役割は、地域の医療機関等との機能分化と相互連携の中での高度医療の提供と、地域に貢献しうる優れた医療人の育成であると考えております。 中期目標では「高度かつ先進的で、高い技術を要する医療に積極的に取り組み、安全安心で最高水準の開かれた医療を提供する」ことや、「名古屋市が設置する医療機関を始め、地域の医療機関等と相互協力関係を強化し、地域包括ケアシステムの構築に寄与するなど、地域住民の要請に応えられる医療を提供する」ことを掲げております。 中期目標に掲げたこれらの取り組みを着実に実施するよう努めてまいります。

（５）財務内容の改善に関する目標に対するご意見（１件）

市民意見	市の考え方
・具体的な経営努力を織り込むとよい。	中期目標には、財務にかかわる基本的な考え方、自己財源の確保及び経費の抑制、資産の運用管理の改善に関する目標を掲げております。 具体的な経営努力については、今後市立大学が作成する中期計画の中で定め、取り組むこととしております。

（６）その他の業務運営に関する重要目標に対するご意見（４件）

市 民 意 見	市の考え方
・「教育研究施設のあり方について、長期的な視点で検討する」とあるが、基本となる考え方を早期に決定したうえで、短期・中期・長期に分けた達成目標を公表して計画的に実行していただきたい。	教育研究施設につきましては、施設を更新することになりますと、多額の費用が発生しますので、現在の施設の状態を踏まえて長期的な視点に立った施設のあり方を検討する必要があります。 ご指摘のように老朽化が目立つ個所もあることから、市と市立大学で協議し、早期に基本となる考え方を決定し、市民の皆様のご理解を賜りながら計画的に実施するよう努めてまいります。
・校舎の老朽化が目立つため、リフレッシュ工事をしてあげて欲しい。予算が足りないのであれば、愛知県立大学との統合を検討した方が良い。	
・山の畑キャンパスは良好な環境とは言えず、薬学部もキャンパスが手入れされていないようである。草を刈る等の最低限の手入れは、蚊等の虫による衛生上の懸念を払拭する為にも、定期的に行う必要がある。	ご指摘の趣旨を踏まえ、今後の維持管理の参考とさせていただきます。
・キャンパスの維持管理の予算が無いのであれば、現在の窮状を広く市民や卒業生に訴え、使用目的を限定した寄附を募ってはどうか。	

３ その他のご意見（３件）

市 民 意 見	市の考え方
・中期目標（案）に書かれていることは余りにも当たり前で、何も掲げないのと同じようなもの。スタッフ個々の参画と組織、財源の裏付けを明瞭にすべき。	中期目標は、市立大学が達成すべき業務運営に関する目標を市が定めて市立大学に指示するものであり、その中で組織運営の改善に関する目標も掲げています。予算を含めた具体的な内容は、中期目標に基づき、今後市立大学が作成する中期計画において定める予定です。

・学問の府らしく、自由にかっ達に全構成員が参加して、自由に討論するような場で目標が確認されなければならない。	中期目標は、市立大学が達成すべき業務運営に関する目標を市が定めて市立大学に指示するものです。市立大学は中期目標を実現するための中期計画を作成することになりますが、その際に、法律及び定款の規定に定められた手続きに基づき、学内で議論をして作成されるものであると認識しております。
・留学生にとって魅力ある場所にするため、スポーツや芸能などにも力を入れるべきだ。	ご意見の趣旨を踏まえ、今後の参考とさせていただきます。